

(別紙 1)

平成28年度 理数科専門科目「課題研究」 年間指導計画

兵庫県立神戸高等学校

学 年：第2学年
教科・科目：理数・課題研究
単 位：3単位（年間105時間）

指導の重点	自然科学に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通じて、自然科学を探究する能力や態度を育成する。
研究テーマ	主体的・協働的に学ぶ学習を通して課題を発見する能力とそれを解決する能力の育成を図る。

期間	学習項目	横断的・総合的な学習や探求的な学習の指導内容	配当時間
第1学期	1 課題の設定 2 研究計画の立案 3 課題の解決	1. 各自の興味や関心、資質などに応じて、各人が課題研究のテーマを設定、各人が自分のテーマのプレゼンテーションを行い、グループディスカッションを経てグループの研究テーマを決定する。 2. 調査や実験の進め方について、研究全体を見通したうえで、具体的な研究の方法を立案する。	4月(6) 5月(6) 6月(8)
	4 プログレスレポート(7月)	3-1. 調査や実験を行う。研究方法に必要な修正を加え、課題解決のための適切な研究の方向性を検討する。得られた結果から考察し、仮説を検証する。 3-2. 仮説の検証結果を受け、新たな仮説を設定し、それを検証するための調査や実験の計画を立案し、実行する。得られた結果を考察し、仮説を検証する。	7月(4)
	(1学期から継続) 3 課題の解決	3-3. 3-1, 3-2を繰り返し、研究課題の解決を進める。 3-4. 研究活動全般において、文献やインターネット、大学などの研究機関との連携を通じて情報収集し、研究を推進する。また、研究機関の訪問や研究者の招聘などの連携により、調査や実験を効果的に推進するとともに、問題解決能力を高める。	7月(10) 8月(15)
第2学期	3 課題の解決	3-3. 3-1, 3-2を繰り返し、研究課題の解決を進める。 3-4. 研究活動全般において、文献やインターネット、大学などの研究機関との連携を通じて情報収集し、研究を推進する。また、研究機関の訪問や研究者の招聘などの連携により、調査や実験を効果的に推進するとともに、問題解決能力を高める。	9月(8) 10月(8) 11月(8)
	4 中間発表会(11月)	4. 研究の進捗状況および今後の研究進展の見通しのため、プログレスレポートや中間発表会を開き、互いの研究状況を把握する。同時に、発表を通じて情報発信能力の増進をはかる。	12月(2)
	3 課題の解決		12月(10) 1月(10)
第3学期	5 研究成果の発表 課題研究発表会(2月)	5-1. 1年間の研究の成果を整理し、論文とポスターを作成する。また、課題研究発表会のスライドを作成する。 5-2. 課題研究発表会では、研究グループごとに研究成果を発表する。これによって研究内容を整理し分析・考察し、成果を情報発信する能力を養う。	1月(6) 2月(10) 3月(4)
横断的・総合的な学習や探求的な学習を実施する字数の計			105